

《中国文化史セミナー》へのお誘い

15年戦争と文学

—火野葦平&石川達三—

1931年の柳条湖事件（満州事変）から1945年の終戦まで、日本と中国の間で激しい戦闘が繰り返されました。小説『麦と兵隊』によって脚光を浴びた火野葦平と、戦場の事実を『生きてゐる兵隊』で赤裸々に描いて罪に問われた石川達三—その後の運命を分けた二人の作品を中心に戦時下の文学を日本と中国、双方の視点から眺めてみたいと思います。NHKのスペシャル番組でも特集され、今回の講師も制作に協力しました。その映像などを見ながらお話しする予定です。

教室：神戸舞子学院

（JR舞子駅より南西へ徒歩5分、国道2号線の海側）

講師：山田敬三

（神戸大学名誉教授・日本現代中国学会顧問）

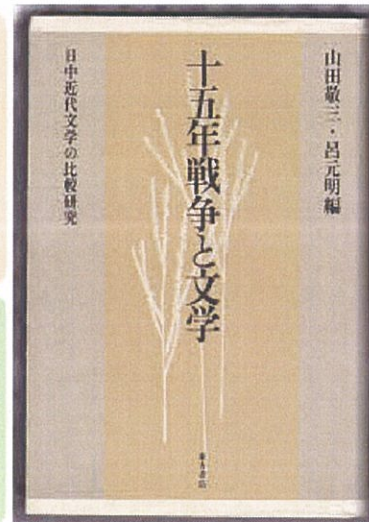
日時：2月14日（日）10時～12時

《中国文化史セミナー》

受講料（一回ごとの料金は1,000円）

（高・大学生 500円）

3月13日（日）：下町の文化
—北京の街角から



神戸舞子学院事務局 電話・FAX：078-955-7016

なお、お電話による受付は 月曜日を除く 10時～17時です。

■E-mail: maikogakuin@hyogo.zaq.jp ■HP: <http://www.maikogakuin.com>